



▲蒔田金蔵支店長、目黒町長、飯塚孝子町民生児委員協議会長（左から）

## お 地域見守りネットワーク協定締結式 年寄りなどの生活をサポート

只見町地域見守りネットワークに関する協定の締結式が4月17日に役場本庁で行われました。お年寄りなどが安全に安心して日常生活を送れるよう取り組んでいるネットワーク事業に、郵便事業株式会社津若松支店（只見・明和集配センター）が連携、協力いただくための協定を結ぶもので、式には蒔田金蔵会津若松支店長が出席され、協定書に捺印されました。今後は郵便局の方も見守り事業に協力されます。

## こ 春待ちチャリティ演芸会 まどり会に9万4千9百円を寄付

春待ちチャリティ演芸会は、4月15日に季の郷湯ら里で行われ、約250名の入場者が歌や舞踊など多彩な演目を楽しみました。今回で第11回となる演芸会は、毎年参加者の輪も広がり、にぎやかな声援が会場内に響きました。また募金活動で来場者や出演者から寄せられた善意94,900円を事務局代表の永井由美さんと五十嵐アツ子さんがNPO法人こまどり会（渡部敏彦理事長）に寄付しました。



▲寄付金を受け取る渡部理事長（左から3人目）とこまどり会の皆さん

## 明 明和保育所入所式 るく楽しく入所児をみんなでお祝い



▲入所児と保護者の皆さん（明和保育所）

町内の各保育所で4月5日に入所式が行われました。明和保育所では8名のお友だちが新たに入所、全保育所児46名の入所式となりました。式では新しい入所児をみんなでお祝いするとともに、一つ大きな組になったことを喜び合いました。また、式の後には全職員による寸劇が行われ、親子で楽しく過ごしました。今年度の入所児童数は只見保育所では44名、朝日保育所でも44名となっています。

## 明 第11回全国編み組工芸品展 和民芸品保存会の2名が入賞

3月17日に三島町で開かれた「第11回全国編み組工芸品展」で、明和民芸品保存会会長の飯塚喜一さんが「米研ぎ笊」で奨励賞を、会員の角田弘芳さんが「かんじき」で福島放送賞を受賞されました。同工芸品展は奥会津三島編組品振興協議会主催で行われ、全国から86人が参加、全602点の中から選ばれました。飯塚さんは昨年が続いての受賞、どちらも伝統的な手仕事の巧みの技を伝える作品です。



▲表彰状を手にする飯塚喜一さん（左）と角田弘芳さん

## 長 只見町納税貯蓄組合連合会総会 期勤続者を特別表彰



▲表彰状を手にする五十嵐潤之介さん（五十嵐友衛さんの長男）

只見町納税貯蓄組合連合会総会が4月13日に朝日地区センターで開かれ、32名の組合長が出席しました。はじめに20年以上勤続された塩沢第一納税組合長の五十嵐友衛さんを永年組合長として特別表彰しました。議事では新年度事業計画や予算が審議され承認されました。特に納税意識高揚を図る、納期内納付の推進、組合未加入者の加入勧奨などが行われます。また、役員改選があり、新連合会長に新屋敷納税組合長の関谷一さんが選任されました。

## 蒲 蒲生集会所に募金箱設置 生岳登山道や公衆トイレの管理に…

蒲生集落活性化委員会などでは、4月5日、蒲生集会所の玄関わきにケヤキで作製された募金箱を設置しました。この募金箱は、会津蒲生岳の登山者や公衆トイレを利用する観光客などに募金を呼びかけているもので、集まった寄付金は蒲生岳登山道や駐車場、公衆トイレの管理などに活用されています。以前から設置されていましたが、昨年の豪雨災害で流されたため、新たに設置されました。皆さんのご協力をお願いします。



▲蒲生集落活性化委員と設置協力者の皆さん

## 施 小規模多機能型住宅介護施設上棟祭 設建設の安全を祈願



▲建設現場で執り行われた上棟祭

只見字原地内に7月、開所を予定している小規模多機能型住宅介護施設で建設作業の安全と、円滑な進行を祈願する上棟祭が4月11日に行われ、関係者が出席しました。祭では上棟の儀のあと、玉串奉奠などが執り行われ、最後に工匠長が「永永棟」などと唱え終了しました。その後、もちまきが盛大に行われ、近くに住む方や只見保育所の子どもたちが集い、威勢よくまかれる餅に手を伸ばしていました。